

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月04日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	11	国際交流事務						
	この事務事業 の位置		政策		安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち						
			施策		文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう						
			基本事業		多文化共生						
	主管課名		秘書課		課長名	竹内勇治					
	この事務事業の開始時期		平成8年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	平成7年2月に友好提携を締結した米国インディアナ州コロンバス市との交流を推進する。隔年でコロンバス市の高校生がみよし市を訪問し、ホームステイ等を通じて日本の文化・習慣を学び市民との交流を図る。				・状況 コロンバス市からの賓客や高校生訪問団の対応を行っている。 ・必要性 国際的な友好都市交流は、異文化への理解と豊かな心を育むまちづくりに重要であり、行政としての重要な業務の一つである。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		コロンバス市長とコロンバス市経済開発公社理事長がみよし市を訪問。情報交換や今後の交流継続の確認をした。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	令和2年度はコロンバス市の高校生来訪団がみよし市を訪問予定。また、みよし市市制施行10周年記念事業として、市民及び高校生をコロンバス市へ派遣予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、いずれも中止。			名称		単位					
				①	コロンバス市からの賓客が来訪した回数	回					
		②	負担金の支払い先	団体							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民				名称		単位					
		①	人口	人							
		②									
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
国際交流の知識や必要性を理解し、国際協力意識が向上する				名称		単位					
		①	国際交流ボランティア登録者数	人							
		②									
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
自主的な交流活動をしてもらう				名称		単位					
		①	国際交流事業が重要だと答えた人の割合	%							
		②	国際交流事業に満足だと答えた人の割合	%							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回			2	2	2	2	2			
	② 団体			3	0	0	0	0			
(2)の 対象指標	① 人			61,153	61,040	61,570	62,100	62,360			
	②										
(3)の 成果指標	① 人			45	47	49	51	53			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %			54.5	56	58	60	62			
	② %			37.1	39	41	43	45			
予算費目	会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	01
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	106	9,048	2,145	80	1,043			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	4,000	0	0			
	一般財源	千円	0	0	106	5,048	2,145	80	1,043		
人件費 B	千円	0	0	4,384.8	5,241.6	5,241.6	4,384.8	5,241.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	435×3	520×3	520×3	435×3	520×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	0	0	0	64	64	64	64			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	4,490.8	14,353.6	7,450.6	4,528.8	6,348.6			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	11	国際交流事務
-------	-----	----	--------

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	みよし市民とコロンバス市民の相互の交流を深めることができている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	国際交流（友好都市交流）の対象は全市民としているため、見直しは必要ない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	国際協力意識の向上という目的を今後も継続していくため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	コロンバス市高校生来訪団の受入れについて、ホストファミリーの募集を全中学生に案内するほか広報等を使い、市民に幅広く呼び掛ける。		
		目的達成状況	内容	みよし市民とコロンバス市民の相互の交流を深めることができている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 友好都市コロンバス市と直接連絡を取り合い、交流を進めるのに必要な調整を行うため。		
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	令和2年度から、友好都市交流と多文化共生の事業目的を明確にするため、国際交流に関する庶務を多文化共生推進事業に一元化し、協働推進課所管とし、友好都市コロンバス市との交流事業のみ秘書課所管とする。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいできないか？）	内容	引き続き事業の進め方について、効率的・効果的な事業費、人件費の執行に努める。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいないため		

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	特になし	対応策	特になし
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	コロンバス市長及び経済開発公社理事長の来訪	変更追加	コロンバス市高校生来訪団の来訪、みよし市民及び高校生の派遣事業の追加
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 令和2年度に市制施行10周年記念事業として、市内高校生及び市民をコロンバス市に派遣予定。また、コロンバス市からの市民来訪団も来訪予定。令和2年度は、2年に1度のコロンバス市高校生来訪団が来訪予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症流行の影響によりいずれの事業も中止。			
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	↑ 増加			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	130	多文化共生推進事業						
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう							
			基本事業	多文化共生							
	主管課名		協働推進課		課長名	山田 浩昭					
	この事務事業の開始時期		平成22年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市多文化共生センターの利用登録に関する要綱								
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由								
	定住化傾向にある外国人に、一市民としてまちづくりに参加してもらうためには市民との意思疎通と相互の理解を図ることが重要であることから、在住外国人への日本語指導、通知文書等の翻訳などの事業を推進する。		本市の外国人登録者数はR2.4.1現在、総人口61,040人の内、2,221人で3.6%を占めている。 意思疎通を図る手段として外国人に日本語を習得してもらうため、在住・在勤の外国人を対象に、日本語ボランティア入門講座受講生を主としたボランティアにより、毎週水・土曜日午前10時から午前11時30分まで、日本語教室を開催している。								
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		ボランティア講師による日本語教室を週2回開催。外国人学習者を増やすため、市内の外国人がよく利用する施設に依頼しPRチラシを配布した。指導法のレベルアップを目指して、ボランティア向け勉強会を実施し日本語教室の充実に努めた。年1回、社会見学を通して外国人に日本の文化に触れてもらう機会を設けた。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	本市の基幹産業である自動車関連産業への雇用がある中で、外国人の転出入も多い状況が続いている。			名称		単位					
				①	日本語教室の開催回数	回					
		②									
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
みよし市在住外国人（16歳以上）				名称		単位					
		①	みよし市在住の外国人の人数		人						
		②									
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
日本語教室での学習者数を増やす				名称		単位					
		①	日本語教室に通う外国人学習者の人数		人						
		②									
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
多文化共生、国際交流の推進を図る				名称		単位					
		①	事業に対しやや満足以上と答えた比率		%						
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回			69	50	80	80	80			
	②										
(2)の 対象指標	① 人			1,878	1,915	1,935	1,955	1,975			
	②										
(3)の 成果指標	① 人			126	130	135	140	145			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %			37.1	45	45	45	45			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	18
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	0	0	728	1,211	1,212	1,212	1,212			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	30	48	48	48		
一般財源		千円	0	0	698	1,163	1,164	1,164			
人件費 B	千円	0	0	1,854.7	1,958.5	1,958.5	1,958.5	1,958.5			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	184×3	142×4	142×4	142×4	142×4			
	正職員以外の人件費	千円	0	0	50	50	50	50			
その他の費用 C	千円	0	0	179	204	204	204	204			
トータルコスト A+B+C	千円	0	0	2,761.7	3,373.5	3,374.5	3,374.5	3,374.5			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	1.5	1.8	1.7	1.7	1.7			
	(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	130	多文化共生推進事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市内在住の外国人も地域社会の一員として共に生活する上で、日本語の理解は必要不可欠であり、この事業の必要性の継続は必要と考えるため。		
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	多文化共生を進めていく上で、外国人を対象することに変化はないため。		
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	日本語の理解を深めてもらうためにも、日本語教室での学習者数を増やす目的に変化はないため。		
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	事業の更なる周知を図るためのPR方法を検討する。			
	目的達成状況	内容	計画どおり達成した			
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 ボランティアにより、毎週水・土曜日に日本語教室を開催している。			
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	他の事務事業との統合は難しい。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	本事業はボランティアの協力により運営しており削減は難しい。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	必要な教材については、個人の負担としているため。		
3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	在住外国人支援を考える中で、外国人のニーズを把握したり、外国人と日本人が意見交換したりする機会がない。	対応策	日本語教室で在住外国人の生の声を聞き、生活の助けになるよう今後も日本語を教える。	
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	日本語教室の運営に携わるボランティアの入門講座を春・秋に開催し、前期・後期に分けて日本語教室を開催する	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様に実施	
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 日本語指導ボランティアの活動の支援を継続して行い、より一層の日本語教室の充実を図る。さらに、外国人も一市民としてまちづくりに参加できるようにして、意見交換できる場について検討していく。		
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	394	友好都市教育親善大使受入事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	多文化共生								
	主管課名		学校教育課			課長名	学校教育課長 都築 克章					
	この事務事業の開始時期		平成9年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		特になし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	友好都市コロンバス市の教育関係者を教育親善大使として招へいし、市内小中学校において友好交流及び国際交流をより深める。					平成8年10月に友好都市コロンバス市及び市地域教育事務所との教育提携を契機に、コロンバス市地域学校との学校間交流を促進させることを目的として開始。 コロンバス市との交流(学校間交流)を毎年行っている。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①友好都市コロンバス市から来訪した教育親善大使の行動計画を作成した。 ②大使の渡航手配を行った。 ③大使の訪問日程に合わせ、通訳者を依頼した。 ④大使が市内小中学校を訪問し、児童生徒及び教員たちと友好交流及び国際交流を深めた。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	令和2年度の教育親善大使の来訪は未定。				名称		単位					
					① 大使数			人				
				② 滞在日数			日					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
コロンバス市からの代表団、教育親善大使、市内小中学生、高校生					名称		単位					
					① 大使訪問校数			校				
					② 児童生徒数			人				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
みよし市、コロンバス市の相互について理解を深めることで、国際交流への関心を持ってもらう。					名称		単位					
					① 訪問予定時間に対する実績の割合			%				
					② 大使との交流を行った学校の割合			%				
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
自主的な交流活動をしてもらう。					名称		単位					
					① 国際交流が重要だと思う人の割合			%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人			1	1	1	1	1			
		② 日			9	10	10	10	10			
(2)の 対象指標		① 校			4	9	9	9	9			
		② 人			5,759	5,630	5,725	5,764	5,733			
(3)の 成果指標		① %			90	100	100	100	100			
		② %			33	75	75	75	75			
(4)の結果の 成果指標		① %			65	65	65	65	65			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	01	目	02
コスト		年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	0	421	348	348	348	348			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	300	300	300	300			
	一般財源	千円	0	0	421	48	48	48	48			
人件費 B		千円	0	0	1,226.4	1,226.4	1,226.4	1,226.4	1,226.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	0×0	0×0	365×1	365×1	365×1	365×1	365×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	37	37	37	37	37			
トータルコスト A+B+C		千円	0	0	1,684.4	1,611.4	1,611.4	1,611.4	1,611.4			
単位あたりコスト ①		千円/校	0	0	421.1	179	179	179	179			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	0	0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3			

事務事業名		No.	394	友好都市教育親善大使受入事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	毎年交流を続けていることで、コロンバス市との学校間交流が恒例になってきている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	訪問時は教育親善大使が市内4小中学校を訪問し交流を深めているが、大使のスケジュールの都合ですべての小中学校を訪問するのは難しい。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	毎年交流を続けていることで、コロンバス市との学校間交流が恒例になっており、今後も同じ目的で続けていく必要がある。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		教育親善大使が毎年市内すべての小中学校を訪問し交流を深める。	
		目的達成状況	内容		コロンバス市との学校間交流が恒例になってきており、目標はおおむね達成できている。	
		市関与の必要性 (実施手法)	内容		<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 みよし市小中学校国際交流委員会に業務委託し、市内小中学校の国際交流の推進を図っている。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		対象、目的が同じ事業はなく、統廃合はできない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		大使が訪問した際は、ホームステイするなど経費削減に努めている。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	学校教育法に基づき、学校の設置者は学校を管理し、学校の経費を負担することとなっている。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	特に意見、課題はない。		対応策
R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	コロンバス市教育長がが来訪。		変更 追加	令和2年度は教育親善大使の来訪は未定。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 小中学校における国際交流を促進するために継続することが必要である。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 2年度（31年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和02年12月07日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No. 419	友好都市中学生派遣事業								
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
		施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
		基本事業	多文化共生								
	主管課名	学校教育課			課長名	学校教育課長 都築 克章					
	この事務事業の開始時期	平成10年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令	特になし									
	事業の概要	友好都市コロンバス市へ市内中学校の代表生徒を派遣し、国際交流、地域間交流を推進する。			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由 「21世紀の教育提携書」に基づく交流の推進を図るため。 海外から帰国する生徒も増えており、国際的な感覚が増加している。						
	H31年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	友好都市コロンバス市へ派遣する中学生を募集・選考し、8月21日から30日までの日程で派遣した。現地では市長の表敬訪問や市内視察をしたり、ホームステイ先の子供と学校での生活を体験した。（市内4中学校から男女それぞれ2人ずつの合計16人を派遣）									
	事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか	令和2年度の派遣は中止となった。			(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容				名称		単位					
				① 研修回数		回					
				② 派遣人数		人					
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）	市内中学2年生			(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
				名称		単位					
				① 中学2年生生徒		人					
				②							
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）	異文化を直に体験することで国際視野を広げ、国際理解を深める。			(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
				名称		単位					
				① 交流を深めたと感じる生徒数		人					
				② コロンバス市派遣団員生徒数		人					
結果（上位基本事業の意図）	自主的な交流活動をしてもらう			(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
				名称		単位					
				① 国際交流の推進が重要だと思う人の割合		%					
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回			8	0	8	8	8			
	② 人			16	0	16	16	16			
(2)の 対象指標	① 人			598	622	671	663	629			
	②										
(3)の 成果指標	① 人			16	0	16	16	16			
	② 人			16	0	16	16	16			
(4)の結果の 成果指標	① %			65	65	65	65	65			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	03	目	02
コスト	年度	H30年度 実績値	H31年度 計画値	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値			
事業費（決算又は予算額）A	単位	0	0	4,951	6,692	6,692	6,692	6,692			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	4,307	4,543	4,543	4,543			
	一般財源	千円	0	0	644	2,149	2,149	2,149			
人件費B	千円	0	0	1,092	504	1,092	1,092	1,092			
正職員従事時間×人数	時間×人	0×0	0×0	325×1	150×1	325×1	325×1	325×1			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	12	0	13	13	13			
トータルコストA+B+C	千円	0	0	6,055	7,196	7,797	7,797	7,797			
単位あたりコスト	① 千円/人	0	0	10.1	11.6	11.6	11.8	12.4			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	419	友好都市中学生派遣事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	海外から帰国する生徒も増えており、国際理解の必要性は増している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	ホームステイの受け入れ先の問題もあり、派遣人数を増加することは難しい。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	国際視野を広げ、国際理解を深めることは、今日のグローバル社会にとって必要であり、目的を見直すことはできない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	派遣団の人数を増やし、多くの生徒が異文化を体験する機会を増やす。	
	目的達成状況	内容	派遣された生徒の派遣報告から、国際理解は深まっている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 みよし市友好都市中学生派遣団に補助金を交付している。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	対象、目的が同じ事業はなく、統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	コロンパス市での滞在期間はホームステイするなど、経費削減に努めている。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	派遣される生徒1人あたり60,000円を負担している。 負担金を高くすると家庭の経済状況により応募できない生徒も出てくると思われる。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	学校から、団長を務める校長先生の所属校からも引率教諭が必要という意見がある。	対応策	団長を務める校長先生の所属校からの引率教諭を追加する。
	R2年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	団長1人、引率者3人、生徒16人、事務局1人をコロンパス市に派遣した。	変更追加	令和2年度の派遣は中止。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 原油価格高騰により、渡航費用が以前よりかかり、補助金増額の必要がある。 平成24年度より引率者を1名減した。 近年、中学生の派遣先での体調不良等が発生し、その対応に苦慮することがあり、生徒と行動を伴にする各学校からの引率者が必要である。その結果、団長として引率するものとしての役割が別行動としてあるため、引率者1名を再度要望する。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	コストの方向性	→ 維持		
		成果の方向性	→ 維持		